

冬の星空

【児童センター冬の星空1月号】

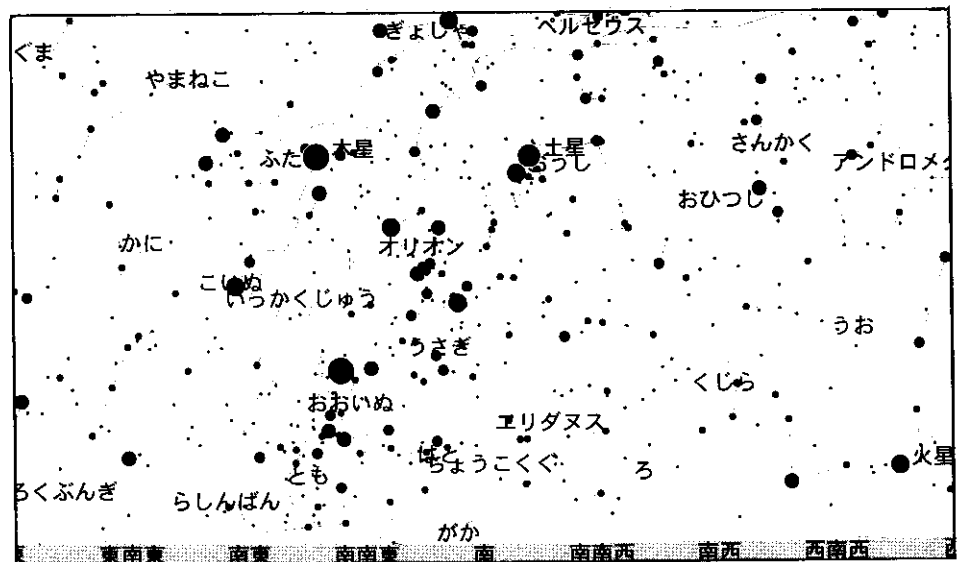
明けましておめでとう御座います。元旦に「初日の出」を見て新年を祝う人も多いと思います。さて、気になる“日の出”の時刻ですが、東京では午前6時51分頃となり、入間市ではその時刻より少々遅れます。

防寒対策をしっかりと、お気に入りの場所から“初日の出”を迎えて下さい。

＜1月の星空カレンダー＞

- 6日(日) ①下弦
- 13日(日) ②新月
- 22日(火) ③上弦
- 29日(火) ④満月

右の星図は、1月中旬の夜9時ごろ、南の方向を中心に見た星空です。



☆☆☆☆☆☆

《天文現象》

昨年の11月、1時間に5,000個を超える流れ星が観測できた“しし座流星群”が記憶に新しい天文現象でした。今年は、土星食(1/25, 3/20)、木星食(1/27)、月食(5/26)、部分日食(6/11)、があります。また、アメリカでは「しし座流星群」があります。

☆流星：4日に、りゅう座(しぶんぎ座)流星群が見えます。

☆水星：太陽が沈んだ頃、西天の地平線付近に水星が観測できます。12日に東方最大離角(0等星)なので、10～16日の間に水星が見えやすくなります。

☆火星：約1等星で夕方の西空に赤く輝きます。夜10時には地平線に沈みます。

☆土星：関西方面で見ることが出来る現象ですが、25日午前2時前後に土星が月に隠れて再び出現する現象(土星食)があります。

☆木星：1日に木星は地球から見て太陽の反対に位置になります。一晩中、明るく輝く星(-2.7等)が木星です。木星は約12年の周期で太陽を1周します。